

科目名 Course Name	アートセラピー I Art Therapy I				ナンバリング No.	D2-007	
年次	1 年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	田村田						
連絡先(質問等)	講義棟本館 3 階研究室						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1、DP2、DP4						
授業の概要と到達目標	様々な表現方法を体験し、創造性やイメージの豊かさ又幅広い人間性の向上を図る。 ① 課題に対し自らのアイデアを色々な方法で表現できるようにする。 ② 創造する過程で思考錯誤を重ね、豊かな思考力および表現力を養う。 ③ 作品鑑賞の理解と豊かな感性を育む。 ④ 創造する喜びを得る事でメンタルヘルス、ストレスケアに役立てる事ができる。						
授業の方法	講義、課題にそっての造形表現、作品鑑賞を通し様々な表現方法を試みる。						
学習成果	L01						
	L02	色々な場面で自らのアイデアを形や行動へと繋げる能力が養われる。					
	L03	身につけた表現力を生かし、温かい環境を作る事に役立つ事ができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	課題表現を発表、鑑賞しあい表現の多様性を知り、自らの作品をさらに深めて行く。						
教科書/参考図書	特になし。授業内で参考書籍を提示する。(必要に応じて作成したプリントを配布する) 図書館の活用を望む。						
履修上の留意点やルール等	● 制作課題等、授業に積極的に取り組む。授業の進行、他者に迷惑になる行為は禁止。材料、道具などの後片付けをする。各自の表現材料は自己負担とする。● 事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務経験	● 実務経験(職種:美術教室、陶芸教室 職歴:通算 26 年) 美術教室や幼稚園、保育園等での実践事例を折り込みながら授業を行う。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	意欲的に課題制作に取り組んでいる。		20		
レポート/作品	課題作品に創意工夫が見られるかどうかを評価する。			70	
発表	作品に対し適切な説明を述べる事ができるかどうかを評価する。		10		
小テスト					
試験					
その他					
合計			30	70	

回数		授業計画
1	授業内容	授業内容の説明 表現とセラピーの関係 色彩について カラーヒストリー etc.
	事前・事後学習	現在好きな色彩を身近な物から考えてみる。
2	授業内容	フロッターージュによる配色表現
	事前・事後学習	フロッターージュ技法を自分の持ち物で体験してみる。
3	授業内容	アートセラピーの実際 絵画療法の体験
	事前・事後学習	自分の描いた絵画をとおして自分自身をみつめてみる。
4	授業内容	五感について 香りの利用法
	事前・事後学習	感覚についてあらためて意識し、好きな食べ物、色、香り、音楽を書いてみる。
5	授業内容	毛糸のコサージュ作り ①
	事前・事後学習	配色の組み合わせを考えて材料を準備してくる。
6	授業内容	毛糸のコサージュ作り ②
	事前・事後学習	作ったコサージュを応用し、素材をかえて試みてみる。
7	授業内容	アートセラピーの実際 絵画療法の体験とコミュニケーション
	事前・事後学習	思いやりの言葉や態度を考えてみる。
8	授業内容	BOX 表現 ① クリアボックスに季節の表現
	事前・事後学習	箱の中の表現を考え、アイデアに沿い材料を準備する。
9	授業内容	BOX 表現 ②
	事前・事後学習	授業で制作を進めながら、さらに工夫する点を考え必要な制作材料を用意する。
10	授業内容	BOX 表現 ③
	事前・事後学習	作品完成にむけ、工夫を重ね足りない部分を制作してくる。
11	授業内容	BOX 表現鑑賞 各自の作品発表及び講評会
	事前・事後学習	表現の多様性を理解した事で、あらためて美術や工芸作品に触れてみる。
12	授業内容	空間を彩るオーナメント作り ①
	事前・事後学習	形のアイデアをさらに進めて色々描いてみる。材料をそろえてくる。
13	授業内容	空間を彩るオーナメント作り ②
	事前・事後学習	授業中、材料が足りない物など探しながら、さらにアイデアをふくらます。
14	授業内容	空間を彩るオーナメント作り ③
	事前・事後学習	制作の遅れている部分、さらに工夫をして完成させる。
15	授業内容	作品を完成して提出 展示方法について アートセラピー授業の感想
	事前・事後学習	この授業の体験を通して、表現の楽しさと心の関係を考えてみる。